

2027年2月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年7月10日

上場会社名 株式会社MS&Consulting 上場取引所 東
 コード番号 6555 URL https://www.msandc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 秀敏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 並木 昭憲 TEL 03(5649)1185
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	515	3.8	△31	-	△32	-	△20	-	△20	-	△19	-
2026年2月期第1四半期	496	16.2	△72	-	△73	-	△43	-	△43	-	△36	-

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2027年2月期第1四半期	△4	51	△4	51
2026年2月期第1四半期	△10	40	△10	40

(注) 2026年2月期第1四半期の希薄化後1株当たり四半期損失については、新株予約権の行使が1株当たり四半期損失を減少させるため、潜在株式は希薄化効果を有しておりません。また、2027年2月期第1四半期の希薄化後1株当たり四半期損失については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、希薄化後1株当たり四半期損失は基本的1株当たり四半期損失と同額を記載しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	3,594	2,896	2,936	81.7				
2026年2月期	3,704	2,914	2,956	79.8				

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2026年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00	0.00
2027年2月期	-	-	-	-	-	-
2027年2月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	1,259	1.3	80	16.2	79	15.4	53	2.2	53	0.6	11	67
通期	2,757	6.7	355	40.7	352	40.2	221	28.2	220	27.2	48	93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年2月期1Q	4,597,400株	2026年2月期	4,597,400株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	97,601株	2026年2月期	97,601株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年2月期1Q	4,499,799株	2026年2月期1Q	4,107,969株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料について)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(第1四半期連結累計期間)	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	6
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(注) 当会計年度より、2026年4月10日に開示した決算説明資料に記載の「中期事業計画」の方針を踏まえ、商品区分をCX領域（ミステリーショッピングリサーチ、カスタマーリサーチ、ネットリサーチ等当社モニターの声を顧客企業に届ける分野）、コンサル領域（コンサルティング、チームアンケート、店舗集客支援LB0（エルボ）、SVナビ、人材紹介事業等の分野）、その他（上記二つのいずれにも該当しない商品・サービス分野）に変更して記載しております。

当第1四半期におけるわが国経済は、実質賃金が長期低迷から上昇局面を迎えているものの、これまでの物価上昇に対する負担感や警戒感から、内需の牽引役である家計消費は伸び悩みが続いております。加えて、中東情勢等を背景とした調達コストの増加や、深刻な人手不足に伴う人件費の上昇などが企業経営を圧迫しており、当社の主要顧客である外食・小売などの内需型サービス産業においては、先行き不透明な環境が続いております。

このような環境下、基幹サービスである顧客満足度覆面調査「ミステリーショッピングリサーチ(以下「MSR」という。)」を含むCX領域の売上収益は、前期に実施した大型スポット契約の終了に伴い、前第1四半期と比較し3.9%減となりましたが、プロジェクトの利益率向上が継続しており、売上収益からモニター謝礼および外注費を除いた直接利益売上高は2.1%向上しております。またコンサル領域の売上収益は49.8%と大きく伸長、その他は1.2%減となっております。以上の結果、売上収益で3.8%増、売上総利益が39.7%増、営業利益は41百万円増、親会社の所有者に帰属する当期利益は22百万円増となりました。

前期の主要テーマ「全社収益性改善」による原価や販売管理費の抑制、AI活用による生産性の向上に加えて、人員増および教育が順調に進み、コンサルティング（以下、「コンサル」という）の売上収益が増加した結果、実施プロジェクトの利益率向上や原価抑制が進み、売上収益に比べ、売上総利益が伸長しております。

売上面では、MSRは海外関連調査が22.6%増、コンサルでは通常コンサルが57.6%増、補助金・助成金コンサルが54.3%増と大きく増額、まだ金額は小さいながらもストックビジネス化を目指しているLB0も228.0%増と成長しつつあります。一方でbinoのサービス終了やコストダウン商材の販売停止（共に「その他」分野）によるマイナスも発生していますが、今後もサービス分野の拡大及び取捨選択を進めていく方針です。

受注高は前第1四半期と比較し9.2%増、粗利率の高いコンサル領域が牽引し、受注高からモニター謝礼や外注費を除いた直接利益受注高は15.5%増となり、2027年2月期の受注残高は前年同月と比較して10.1%増となっております。

生産面では、1レポートあたり生産性の改善を継続・強化することにより、MSRの粗利益率が前第1四半期の42.6%から45.5%へと改善しております。その他、新たに引き合いが生まれている海外エリアにおけるモニター基盤やオペレーションの構築、AI活用による生産性向上などの施策を進めております。

管理面では、「全社収益性改善」の成果が定着しており、将来に向けた投資により減価償却費や労務費等が増加しているものの、前第1四半期と比較して売上収益に占める原価率が6.7ポイント減、販管費率が2.2ポイント減となりました。

以上の結果、当第1四半期の業績は、売上収益514,968千円(前期比3.8%増)、営業損失31,065千円(前期は72,291千円の営業損失)、税引前四半期損失31,770千円(前期は72,895千円の税引前四半期損失)、親会社の所有者に帰属する四半期損失20,300千円(前期は42,743千円の親会社の所有者に帰属する四半期損失)となりました。

なお、当社グループはミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、主に繰延税金資産が12,048千円増加したものの、現金及び現金同等物が25,655千円、営業債権及びその他の債権が78,570千円、その他の流動資産が7,433千円、使用権資産が8,627千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて109,349千円減少し、3,594,425千円となりました。

負債については、主に借入金が30,000千円、未払法人所得税等が48,763千円、その他の流動負債が5,887千円、リース負債が8,713千円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて90,469千円減少し、698,825千円となりました。

資本については、親会社の所有者に帰属する四半期損失の計上に伴う利益剰余金の減少20,300千円があったこと等により、前連結会計年度末に比べて18,880千円減少し、2,895,600千円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ25,655千円減少し、1,004,343千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、40,340千円の収入(前年同期比58,636千円減)となりました。これは、税引前四半期損失の計上31,770千円、法人所得税の支払額48,660千円等があったものの、減価償却費及び償却費の計上35,678千円、営業債権及びその他の債権の減少78,688千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、25,321千円の支出(前年同期比311千円増)となりました。これは主に無形資産の取得による支出24,375千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、38,791千円の支出(前年同期は52,362千円の収入)となりました。これは、短期借入金の返済による支出30,000千円、リース負債の返済による支出8,791千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月10日の「2026年2月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,029,998	1,004,343
営業債権及びその他の債権	344,559	265,989
その他の金融資産	300	300
棚卸資産	7,261	8,629
その他の流動資産	46,493	39,060
流動資産合計	1,428,611	1,318,321
非流動資産		
有形固定資産	24,213	23,098
使用権資産	38,741	30,115
のれん	1,825,582	1,825,582
その他の無形資産	325,139	324,598
その他の金融資産	40,210	39,386
繰延税金資産	21,277	33,325
非流動資産合計	2,275,162	2,276,104
資産合計	3,703,773	3,594,425
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	150,000	120,000
リース負債	32,770	27,193
営業債務及びその他の債務	492,252	495,090
未払法人所得税等	51,832	3,068
引当金	12,416	12,416
その他の流動負債	27,331	21,444
流動負債合計	766,601	679,211
非流動負債		
リース負債	3,526	390
引当金	18,590	18,596
繰延税金負債	577	627
非流動負債合計	22,693	19,613
負債合計	789,294	698,825
資本		
資本金	78,115	78,115
資本剰余金	1,934,817	1,934,817
自己株式	△62,380	△62,380
その他の資本の構成要素	△13,209	△13,016
利益剰余金	1,018,631	998,331
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,955,974	2,935,867
非支配持分	△41,494	△40,267
資本合計	2,914,480	2,895,600
負債及び資本合計	3,703,773	3,594,425

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上収益	496,048	514,968
売上原価	△399,743	△380,472
売上総利益	96,305	134,496
販売費及び一般管理費	△171,878	△167,072
その他の収益	3,282	2,471
その他の費用	—	△959
営業損失(△)	△72,291	△31,065
金融費用	△604	△705
税引前四半期損失(△)	△72,895	△31,770
法人所得税費用	29,423	11,729
四半期損失(△)	△43,471	△20,041
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	6,007	△761
純損益に振り替えられることのない項目合計	6,007	△761
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	1,372	1,922
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1,372	1,922
税引後その他の包括利益	7,379	1,161
四半期包括利益	△36,092	△18,880
四半期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△42,743	△20,300
非支配持分	△728	259
四半期損失(△)	△43,471	△20,041
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△35,120	△20,107
非支配持分	△973	1,228
四半期包括利益	△36,092	△18,880
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期損失(△)(円)	△10.40	△4.51
希薄化後1株当たり四半期損失(△)(円)	△10.40	△4.51

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2025年3月1日時点の残高	78,115	2,041,170	△358,555	△36,268	862,804	2,587,265	△35,385	2,551,880
四半期損失(△)	—	—	—	—	△42,743	△42,743	△728	△43,471
その他の包括利益	—	—	—	7,623	—	7,623	△244	7,379
四半期包括利益合計	—	—	—	7,623	△42,743	△35,120	△973	△36,092
自己株式の処分	—	△47,394	135,752	—	—	88,358	—	88,358
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	14,035	△14,035	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△47,394	135,752	14,035	△14,035	88,358	—	88,358
2025年5月31日時点の残高	78,115	1,993,776	△222,803	△14,611	806,027	2,640,504	△36,358	2,604,146

	親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の 資本の構成 要素	利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2026年3月1日時点の残高	78,115	1,934,817	△62,380	△13,209	1,018,631	2,955,974	△41,494	2,914,480
四半期損失(△)	—	—	—	—	△20,300	△20,300	259	△20,041
その他の包括利益	—	—	—	193	—	193	968	1,161
四半期包括利益合計	—	—	—	193	△20,300	△20,107	1,228	△18,880
2026年5月31日時点の残高	78,115	1,934,817	△62,380	△13,016	998,331	2,935,867	△40,267	2,895,600

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期損失 (△)	△72,895	△31,770
減価償却費及び償却費	31,380	35,678
金融費用	400	496
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△15,988	△1,368
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	155,186	78,688
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	29,304	3,089
その他	△995	4,684
小計	126,392	89,496
利息の支払額	△399	△496
法人所得税の支払額	△27,017	△48,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,976	40,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△946
無形資産の取得による支出	△32,755	△24,375
資本性金融商品の売却による収入	10,275	—
その他	△2,530	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,010	△25,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△27,480	△30,000
自己株式の処分による収入	88,358	—
リース負債の返済による支出	△8,516	△8,791
財務活動によるキャッシュ・フロー	52,362	△38,791
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	126,328	△23,772
現金及び現金同等物の期首残高	578,930	1,029,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	651	△1,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	705,908	1,004,343

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ミステリーショッピングリサーチ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。